

4 学校支援地域本部について

「学校支援地域本部事業」は、地域ぐるみで学運営を支援する体制として、いわばボランティア本部をつくる事業です。学校と地域のかげ橋を整備し、地域人材等を活用するためのコーディネート組織の整備にねらいがあります。また、多様な形態の教員支援を可能とし、子供と向き合う時間の拡充

を図るというもので、全国では既に約3,000もの本部が立ち上がっていると言われております。

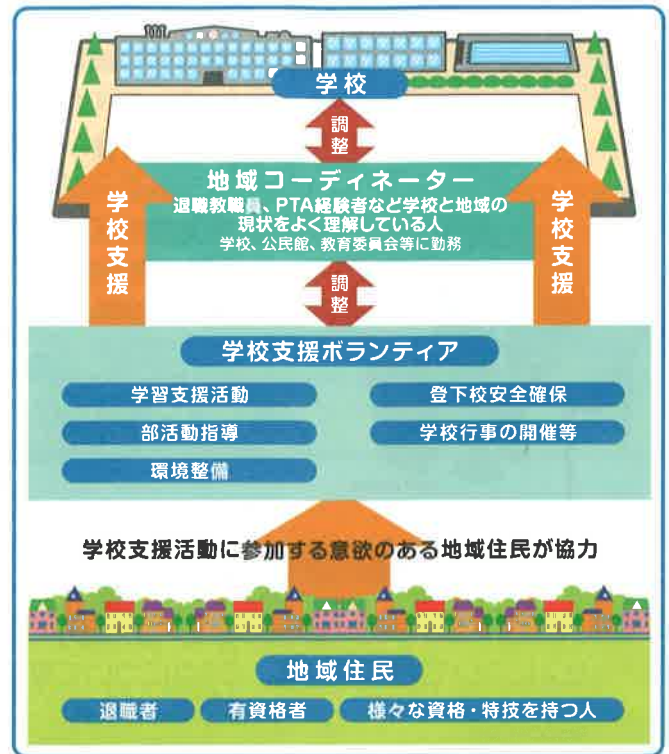
本市にも学校評議員制度や青少年育成委員会などがありますが、より多くの地域人材の参加を容易にするとともに、将来的な永続性を意識した仕組みとなります。

本件は、2008年の第一回定例会において千葉市議会で初提案。2010年の第二回定例会では「協働の推進」の観点から再提案。そして今般、磯部小(美浜区)をモデルに試行の運びとなりました。

市長の所信表明において(本事業の発展形として)「コミュニティスクール」導入の可能性についても言及されたことから、「学校支援地域本部」との違いなどについて質問致しました。

(答弁では)「学校支援地域本部」は、学校のニーズに基づき地域のボランティア等により学校を支援する組織で、「コミュニティスクール」は、学校運営協議会において学校経営方針や人事についての意見を述べるなど、地域住民等が主体的に学校運営に参画する仕組みとのことであります。

「コミュニティスクール」と一言で言っても多様な形態があるようであり、検討そのものは否定するものではありませんが、個人的には教育の本来あるべき中立性などを考え、経営方針や人事まで踏み込む点については少々行き過ぎの感があり、慎重になるべきと訴えました。



声を形に

Hotニュース

『うつ病対策』千葉市こころの健康センターで「認知行動療法」スタート!

私たち公明党では、総合うつ対策の中で薬物療法と認知行動療法の併用を普及させることを訴えてきた結果、2010年度より認知行動療法が健康保険の適用となりました。(薬物療法に偏りがちなうつ病治療にあって、認知行動療法に大きな期待が寄せられています。)しかしながら、同療法が実施可能な病院施

設は少なく、市が積極的に普及推進するよう求めて参りました。(H22年第2回定例会、H23年第4回定例会にて議会質問を実施。)

その結果、この8月より「千葉市こころの健康センター」において「うつ病集団認知行動療法」が実施されることとなりましたので、ご報告致します。

- 対象者：うつ病で通院中の20～55歳の市民(主治医が必要と認めた者)
- 定員：10名(会場は千葉市こころの健康センター/美浜区高浜2-1-16)
- 内容：千葉大の臨床心理士の協力を得て実施。(利用料は無料)
原則として週1回、計8～10回を1期とし、年2期以上の実施を目途とする。
- 募集期限：8月14日(水)
- ※うつ病を対象とした認知行動療法単独の事業実施は、全国で初となります。

市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声を聞かせください。

千葉市議会議員

酒井 伸二

〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

Tel/Fax.043-268-7120

http://chibashi.com e-mail:sakai@chibashi.com

